

JAPAN IAEA 2022原子力マネジメント (NEM) スクール2022

○期間:7月19日(火)～8月5日(金)、

○場所:東大本郷キャンパス

○参加者:海外11か国(ブラジル、チェコ、エストニア、ガーナ、インドネシア、メキシコ、ポーランド、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、ベトナム)から11名、日本国内から13名の合計24名が参加。

○概要:NEMスクールは原子力人材育成ネットワーク、日本原子力産業協会(JAIF)、日本原子力研究開発機構(JAEA)、東京大学及び原子力国際協力センター(JICC)がホストとなりIAEAの協力のもと、年1回開催されている。このスクールは原子力発電新規導入、拡大国において将来原子力発電分野で管理層を目指す若手あるいは転入者に原子力全般(特に発電分野)の知識を講義、グループワーク、施設訪問を通じて提供する。日本からもJAIF会員企業・組織から若手が参加している。

講義は原子力発電全般に関する知識(原子力発電の重要性、原子力発電技術、原子力安全、セキュリティ、原子力法、原子力発電での管理システムとリーダーシップ、原子力発電の経済性、放射性廃棄物管理)に加えて、日本NEMスクールの独自性の観点から、福島第一事故からの教訓、SMR等の新技術開発、緊急時対応の講演が行われた。研修生は5つのグループに分かれて、「2050年において日本の原子力発電業界からスピノフできるビジネスプランを提言できるまでのシナリオを計画せよ」との課題について議論した。結果をグループごとに発表したまた、最終試験には全員合格し、閉講式で修了書が授与された。

